



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

賃金

様々な業種の
賃上げ事例をご紹介します

引き上げ

取組事例集

WAGEHIKE

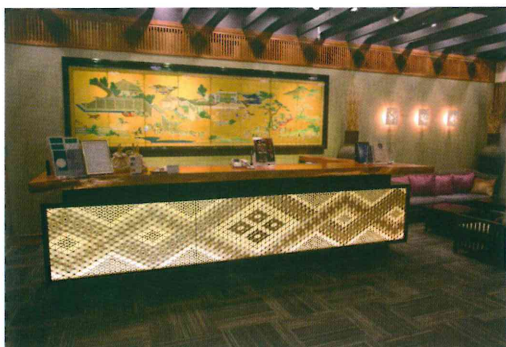


コロナ禍の厳しい事業環境の中 継続的な賃上げに取り組む

大正7年開業の老舗旅館。宿泊のみならず、日帰り、宴会、婚礼の利用客に100坪の庭園と温泉・料理の魅力を提供。

COMPANY PROFILE 企業プロフィール

- 代表取締役社長／宮崎 知子
- 本社所在地／神奈川県秦野市
- 従業員数／43名(正社員21名)
- 設立／1918年(大正7年)
- 資本金／1億円(資本準備金9,000万円)
- 事業内容／旅館「鶴巻温泉 元湯 陣屋」の運営



就労意欲維持のために賃上げに取り組む

コロナ前には及ばずとも徐々に好調の兆しが見えてきた状況を背景に、同社は2022年10月に最低賃金額改定のタイミングで若手社員の基本給を33%、さらに全パート社員の時給を平均3.3%(最大14.5%)引き上げた。厳しい事業環境の影響により早期実現はできなかったものの、来たる2023年には全社員のベースアップと賞与の支給を行う計画としている。併せて、離職率低下のため週休3日制とし、働き方改革、多様な働き方を視野に入れた取組みも行っている。

様々な収益力向上策を進め原資を確保

旅館業務の全てを一括管理できるシステム「陣屋コネクト」を自社開発し2008年から運用。これにより業務効率を格段に上げることができた。また、陣屋は自社サイトからの予約率が95%と他の旅館・ホテルより圧倒的に高いことからOTA(Online Travel Agent)での販売をやめ、その手数料をなくすことで収益率を上げている。さらに、創業100年超の老舗の価値を生かし、人生の節目に利用してもらえる施設を目指す。婚礼商品の開発等20年後の顧客獲得につながる様々な取組みを進めている。

サービス品質維持には従業員の定着が不可欠

人材確保の難しさは、旅館・ホテル業界全体の課題となっているが、同社にとってもこの課題は大きい。高級化路線を進めてきた旅館陣屋には、現在の宿泊客単価約5万円に見合うサービス提供と気遣いができるスタッフが欠かせないが、従業員が定着しないと品質の高いサービスを維持できない。このため、離職を防ぎ、モチベーションを維持するためには、賃上げが必要であると考え、今後も様々な収益力向上策を進めながら賃上げを継続していく姿勢だ。